

平成11年8月31日発行

泉南走ろう会

先社スボルス(83)4653
連南家井0724

夜叉が池参加記

石井繁貴

7月24日、25日の両日、はしうる会の練習に未練を残しつつ夜叉が池に参加してきました。夜又が池というのは夜叉姫の雨乞い伝説にちなんだマラニックで、岐阜県大垣市に近い神戸町（夜叉姫誕生の地）から夜叉が池までの往復131kmを2日間で踏破するものです。夏の暑い時期に行われ、また、高低差が大きくて厳しい大会にもかかわらず、年によっては定員をオーバーするほどの人気があるのは、池のイメージに寄るところが大きいのでしょうか。（参加者の大部分が玉三郎の映画を見た世代の筈）今年は昨年の台風の復旧工事が一部間に合わず、迂回により133kmほどに延びました。

24日はウルトラの仲間との再会、出会いを喜ぶうちに13時、初日43kmのスタートの時を迎ました。夜叉堂で完走路願をし、景勝地電線ケ谷を過ぎる10km地点あたりからは暑さもやわらいで、揖斐川を見ながらのんびりとマラニック。初日のゴールである坂内村の小中学校には17時頃着、その日はその体育館で宿泊（雑魚寝）となりました。知り合いと22時過ぎまで酒盛りをして横になるも寝付けず、1時間ほどの睡眠で2時の起床を迎めました。

2日目のスタートは3時半。真っ暗なのに意外とライトを点ける人が少ないのは、荷物を少しでも減らしたいから？。2日目は標高200mほどの坂内村小中学校から標高1100mの夜叉が池を折り返し、坂内村を経て神戸町へ戻る約90km。スタートから1時間ほどで夜が明け、長く、暑くて熱い一日の幕が開けました。21km過ぎに登山道に入り、上り下りを3kmほど繰り返すと、目の前に立ちはだかるのが夜叉壁。まさに「壁」とよぶにふさわしいもので、登山道の入口で軍手を貸してくれたのに納得、気配りに感謝してしまいました。壁はお菊山コースの出口くらいの傾斜があるよう思えました。壁をよじ登る鬱蒼とした木々に囲まれて、周囲900mほどの夜叉が池が広がっていました。大会7回目にして2回目の晴れ（雨乞い伝説にちなむ大会なので無理もないか）という天気のおかげで全体がはつきり見えるが、神秘性には欠けましたが、登った甲斐のある眺めでした。途中で制限時間をオーバーしても池までは行きたいというランナーが多いのもうなづけます。しばらく見ていたいけど、ランシャツでは寒いため、記念写真を撮つてもらい早々に下山開始。壁は降りる時のほうが怖く、数人のランナーに先に行つてもらいました。

下山では普段使わない太股前面の筋肉を酷使する為了をがくがくさせながら登山道を抜けました。舗装道路に出た所にある70kmの表示に、「ということは、2日めの28km地点で、残り62kmもある」と笑ってしまいました。本当にこんなで最後までもつの？。

2日目は初日以上にランナーがばらけてしまい、通算95km付近で10人をたて、続けに抜いた以外、エイドでもほとんどランナーと会わない状況が続くようになりました。コース上は応援があるわけでもなく、エイドで無駄口を叩くのだけが楽しみになりました。

しばらく中だるみをした後、残り10km地点で久しぶりにランナーを目にする、とたんに元気に。残り1kmではどこに力があり余っていたのか、猛ダッシュ。「それだけ元気があるならもう少し手前からまじめに走れよ」と自分で突っ込みを入れてくれました。結局2日目は9時間半から10時間という目標タイムの通り9時間40分でゴール。

この大会では、水、お茶、もの天然水といった飲み物、バナナ、オレンジ、こんにゃく、煙、御新香巻き（漬物が食べられないため食べることができつらかった）、きゅうりの浅漬け（これも食べられずおなかがすいて）といった食べ物に加え、各エイドに氷が置いてあるのが特徴です。氷は水筒に入れるほか、軍手に入れて頭にのせて走るのだそうです。大きな氷は安定感が悪そうですが、形の悪い頭にちょうど凹凸があつたのか、意外とすれことがなく快適に走れました。（頭に木の葉をのせているようで、たぬきにでもなつたみたいですが）暑い日にお試しください。

お知らせ

一、例会

九月二十二日 九時集合

場所 種河神社
コース 未定



二、大会案内

暑かつた夏も、終わりに近づき、夜になると何処からか虫の鳴き声が聞こえてくる時期になりました。マラソンランナーにとつては、走りやすく、マラソンシーズンに向か練習には、持つてこいの季節となります。今から自分の参加予定とする大会を決めトレーニングを開始しては、如何でしょうか。

八月末時点では次の様な大会の案内が届いています。参考にしてください。

(一) 泉州国際マラソン (フル)

開催日 二月二十日

参加費 四,000円

申し込み 九月一日から九月三十日

(二) 龍神温泉マラソン (ハーフ)

開催日 十二月五日

参加費 四,000円

申し込み 十月二十日まで

(三) 泉佐野市民健康マラソン (十五キロ)

開催日 十一月二十一日

参加費 一,000円

申し込み 九月十七日から十月十七日

コース 末広公園から上之郷折り返し（樺井川沿い）

(四) 泉南市民マラソン (五キロ、三キロ)

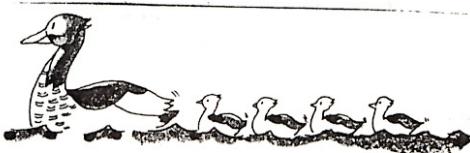
開催日 十月三日

参加費 無料

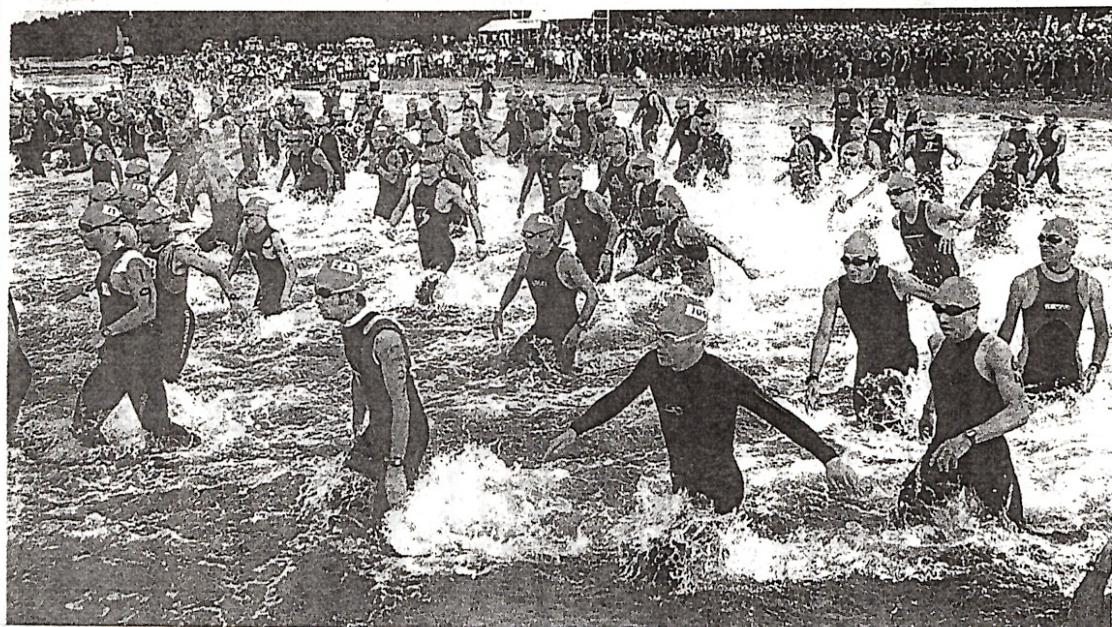
申し込み

十月三日から十七日 体育館

* 每年十二月二十三日に行われていましたが、今年からは十月に行われる事になりました。泉南走ろう会会員の方は出来るだけ参加するように御願いします。



/

(左から) Aタイプ、Bタイプの男女優勝者
=珠洲健民体育馆

トライアスロン珠洲大会

第10回トライアスロン珠洲大会は二十二日、珠洲市共催で行われ。Aタイプ（水泳二・五キロ、自転車九

Bタイプ 船瀬3位、福島10位

石川県勢は、Bタイプ男子で福島秀一が十位、同女子で船瀬美知代が三位に入賞した。大会は、珠洲市蛸島町の鉢ヶ崎海水浴場での水泳を皮切りに自転車、ランニングの三競技で、国内からの招待選手を含む三百十五人が出場し、奥能登北端の起伏に富むコースで気力、体力の限界に挑んだ。この日は、鉢ヶ崎海水浴

場の波が高く、Aタイプの水泳でリタイヤが相次いだ。A、Bタイプ合わせての完走者は千三百二十三人（九〇%）だった。

△Aタイプ男子 ①松丸 真幸（千葉）5時間20分56秒
②鈴木照幸（愛知）③小松崎 駿（神奈川）④遠正明（大阪）
⑤松下篤史（同）⑥今藤幸雄（富山）⑦林田一真（奈良）
⑧青木喜昭（大阪）⑨稻波隆夫（滋賀）⑩ニール・ミラー（東山由紀）

△Bタイプ男子 ①マイケル・トリーズ（茨城）②関谷茂俊（奈良）③吉岡静子（大阪）④西雅美（兵庫）⑤渡部みゆき（大阪）⑥木本恵津子（三重）

△Bタイプ女子 ①マイケル・トリーズ（茨城）②千葉智雄（千葉）③森正（三重）④高田武

ケル・トリーズ（茨城）⑤村山晴美（奈川）⑥谷澤政枝（京都）

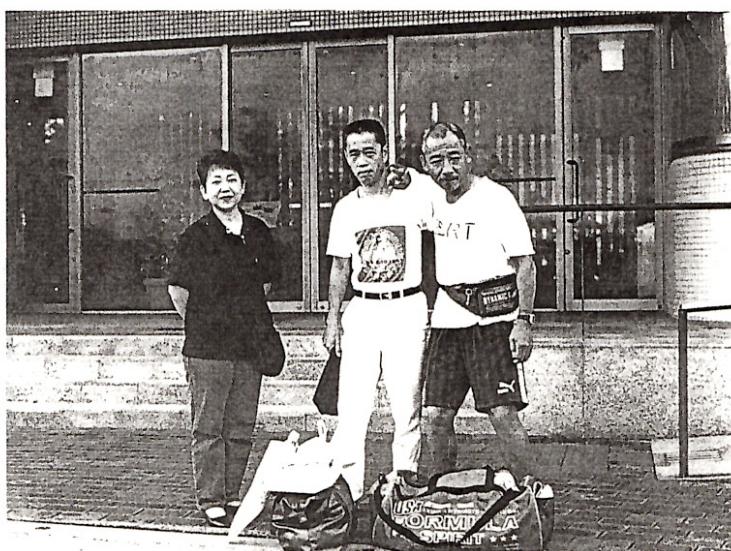
子（静岡）6時間56秒②鈴木純子（愛知）③吉岡静子（大阪）④西雅美（兵庫）⑤渡部みゆき（大阪）⑥木本恵津子（千葉）2時間48分18秒②竹内淳子（長野）③船瀬美知代（石川）④宮原あゆみ（神奈川）⑤村山晴美（大阪）⑥

九・四キロ、ランニング三・三キロの男子は、初出場の松丸真幸（千葉）が五連覇、同女子は上位もばる（千葉）が三年ぶり二度目の優勝を飾った。Bタイプ（一・五キロ、

今年で三回目の出場となる珠洲トライアスロンは、例年になく多く、沖にてられない人も何人かいる始末。そしてバイクでは、前輪がパンクし危うく転倒しそうになり、修理に二十分もかかつてしまつた。おまけに修理が終わつた頃から雨が降り出し前が見えなくなるほど。それに風まで強くなり思う様に走れない状態。それでも何とかランに移る。するところの頃から少し薄日が差し始めたが蒸し暑く、何とも最悪である。しかし、残り四キロ頃から又雨が降りだし、これが恵みの雨となつた。今回は、このように何ともいいようのない大会となつてしまつたが、だけうれしかつた事として、トライアスロンで知り合つた友達が、名古屋からわざわざ応援に来てくれ、レースの様子をビデオに撮つてくれたことである。そして来年は、一緒に参加することを約束した。

最悪の珠洲大会

岡田



心援にさしてくれた友達（神谷さん）
珠洲ビーチホテル前にて